

(お知らせ)

定期検査中の福島第一原子力発電所2号機における警報の発生について

平成18年9月24日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

当所2号機（沸騰水型、定格出力78万4千キロワット）は、平成18年9月4日より第22回定期検査を実施しておりますが、本日、所内の各機器へ電力を供給する電源盤取替作業を実施していたところ、午後2時45分、「B系原子炉自動スクラム*¹」等の警報が発生いたしましたが、原子炉の状態に同警報を発生させるような変化はなかったことから、午後3時1分、同警報を解除いたしました。

なお、同時刻に非常用ガス処理系*²B系が自動起動いたしましたが、午後3時8分、同システムを停止いたしました。

今後、詳細な調査を行う予定です。

現在、原子炉内の燃料は全数取り出されている状態であることから、安全上問題はありません。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

*1 B系原子炉自動スクラム

原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号はA・B両系が同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

*2 非常用ガス処理系

原子炉格納容器から放射性物質の漏えいがあった場合、原子炉建屋内の空気を高性能のフィルタで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。